

【刊夕】日十三月三

定價部金一錢 郵資五角 廣告料五錢 印刷費五角 發行部金一錢 印刷費五角 發行部金一錢 印刷費五角

東京 平野町 常盤報社 印刷部

醫術今昔物語り

平松 鶴吉

有志以前の醫術に關しては詳ならずと雖も、我國醫藥の鼻と稱せらるゝものは神代の昔、大國主命、少彥名命人畜のために治病の途を講せられしに基く、酒は藥物として用ひられしにも、初めにして上古時代に於ては治病の法、祈禱、禁厭により、又は路傍の草木、其のまゝを用ひられしが、其の後隣邦に留學などせしめて醫藥智識吸収に努む、孝謙天皇の御代釋鑑眞の來朝により、藥物の眞贋を教へられ、醍醐天の御代には本草和名二卷の著あり降つて平安朝時代には僧の醫術に携はる者多く足利氏末葉にはオランダより治病の法入り來る、徳川氏時代

に於て漢蘭の二法並び立ちし米使ペルリの來朝以來英米の醫術之に代り前記の二法衰へ來る、明治維新以來文化頓に進歩し醫學に於ても大學の創設を見獨逸醫學の進歩を迎へて之を我國に遷す、斯くて智識を世界に求め日斯月歩逐次發達して今日の隆盛を見るに至る然れどもオランダ藥全く影を潜めしに非ず又古來の藥草等より有効成分の抽出せられ舊き藥の新しき名に於て生れ出つるもの多し、加ふるに新藥の簇出日に新なり、現代に於てはX線の發見、紫外線の應用、ラヂウムの効果電氣の利用等々、曰く何と、是等は總て物理學的最近識と相俟つて其

春の泥

渡邊 何鳴

春泥に桃の花屑こぼしけり
春泥の中の礫を踏みあてぬ
春泥に堤芝の裾ひたりけり
暮れかゝる水の白さや種子を蒔く
花種の床それぞれやくばり蒔く

の應用せらるゝ範圍頗る廣し、教師又各科専門に分るゝ傾向あり病名の數の如き其の主要なるものゝみにても約千三百有餘を算し、其の枝葉を合すれば驚くべき多數となる、社會の著るしき發達は又特殊の職業的社會境遇上の新疾患を生むに至る、斯くい術の向上せる一方に於てまた一種の精神療法とも見るべき古來の祈禱禁厭等の尙行はれつゝあるは興味ある事項なり、疾病を未前に防ぎまたいたるの務めなるが故に公衆衛生乃至は豫防醫學の道開かれ政府は法規さへ設けて之を守らしむ

不思議膏

奇妙に良くさくハリグスリ
神経痛、かたのこり
うちみ、くぢき、リ
ウマチス、齒痛
ハツテ御覽なさい
驚くばかり特効あり
特約店

小野屋藥店

平町四丁目
電話一四四

成田山大護摩修行

團體募集

一、四月四日 (土曜日) 午前七時五分平發
五日 (日曜日) 午前成田解散
一、會費 金八圓五十錢也
但片道汽車賃、車中食費、成田宿泊及茶代祝儀、大護摩修行費、箱札代、一等坊入料及祝儀其他解散迄の諸費一切を含む
◎本年は開講十周年に當り種々準備の都合もありますから三十日迄に御申込を願上ます
三月吉日

成田山大新榮講平講中
講元 井上貞治郎
平五丁目

貸切は...

セダン揃ひで!
貸切専門の!
昭和タクシーへ

電話三四三

小商店員募集

尋常科六學年卒業又は
高等科二學年卒業の方
五六名募集致しますに付
御希望者は御來談願います

三井吳服店

平町 電話三八、三八四番

毛糸...と編物用具は

ハシモトヤへ
優等百合印毛糸 高級霜降毛糸
優等中細毛糸 優等極細毛糸
スコッチ毛糸 英國製毛糸
平町田 電話二四番
ハシモトヤ糸店

鳥料理

末廣
電話二四番



平町四丁目停車場通電四三六

郡下タクシー界の

人氣投票懸賞募集

投票用紙	
商會名	住所姓名

常盤毎日新聞社

開票

郡下タクシー界の

人氣投票

(三月三十日正午現在)

- 二、〇五一 尼子タクシー(平)
- 一、八一四 三井タクシー(平)
- 一、八〇六 三九二タクシー(平)
- 一、三〇七 旭 タクシー(四倉)
- 一、一三七 磐城タクシー(平)
- 一、一〇三 海氣館タクシー(四倉)
- 八四九 野崎タクシー(平)
- 六三二 芹澤タクシー(平)
- 五二五 昭和タクシー(平)
- 一六八 菊地タクシー(平)
- 八四 植田タクシー(植田)
- 七七 すまやタクシー(小名)
- 三二 鈴木タクシー(湯本)

獅子奮迅の勢で

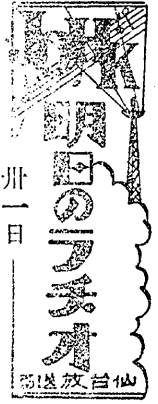
二千取得の尼子

雁行する三井、三九二
海氣館も千票を越ゆ

本日から一週間を残すのみとなつた我が社の郡下タクシー界人氣投票はまたもや尼子が三九二を抜いて先頭に立ち断然二千票を突破してゐるが前日三位へ躍進した三井もまた三九二を抜き千八百十四点で二位を占めたが三九二は押されながらも僅々八票の差で二位に迫り尚五百点の余裕を示してゐるので旭タクシーはもう一ふんばりが必要であらう

平商人學者

平商業學校にては昨日入學者の試験發表したが合格者氏名左の如し(成績順)
根本輝雄 長谷川清 根本健兒 内海實 金成英 保 阿部惣太郎 伴正一 佐藤良吉 小野崎義巳



今晩は南寄りの風晴れ明日は北西の風午後より天気悪くなる

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇〇 經濟市況
- 前九、一〇 料理献立「ウ」
- 前九、二〇 竹の子の木の芽合「鯉」
- 前九、三〇 北海濱「佐藤三徳發表」
- 前九、三〇 日用品價段
- 前九、三〇 經濟市況
- 宇佐美重一 鈴木萬次郎 鈴木克治 鳥越巖
- 小川郷驛へ
- 軌道敷設願
- 石炭粘土搬出
- 石城郡赤井村福島炭礦會社及び品川白煉瓦會社では共同によつて同村大字堂平から磐城本線小川郷驛までの一マイル二分五厘に東甲軌道を敷設すべく代表者草野三郎外三氏が二十八日出縣土木課へ認可を申請中であるがその工費八千圓で同村堂平から目下採掘してゐる石炭を鐵道省に納入する運搬のためであり粘土は品川白煉瓦會社で使用するのである

- 後一、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭講座「三味線のお稽古」第十講杯
- 後三、〇〇 經濟市況
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四五 今晩の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間)
- 後六、〇〇 廣島縣水産試験場長牧野謙二
- 後六、三〇 最新自然科學
- 後一、〇〇 講座「ツイタミンの話」第一講 永山武夫
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項 番組豫告
- 後七、二五 放送喜劇「お乳」曾我廻家五郎一座
- 後八、三五 芦邊踊「大楠公大百年祭橋のかほり」
- 後八、四五 南地藝妓連
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

軌道敷設願

石城郡赤井村福島炭礦會社及び品川白煉瓦會社では共同によつて同村大字堂平から磐城本線小川郷驛までの一マイル二分五厘に東甲軌道を敷設すべく代表者草野三郎外三氏が二十八日出縣土木課へ認可を申請中であるがその工費八千圓で同村堂平から目下採掘してゐる石炭を鐵道省に納入する運搬のためであり粘土は品川白煉瓦會社で使用するのである

滿鮮土産談

川崎 小島
満州を飛び廻つた正味の日数は廿三日間、壇上に起つ事四十三回、約一萬四千人の満州の可憐な兒童達に叫び掛ける事が出来た

御挨拶

今回の渡滿不在中は種々御高配に接し殊に廿八日歸郷の際は御出迎への榮を辱ふして有難く御厚禮申し上げます、其後旅の疲れもなく平常通り事務に當つて居りますから御安心を願いますと共に今後一層御交誼の程を懇願申上ます
三月卅日
川崎 文治

國調委員に

平町で十月一日の國勢調査委員卅七名及び町役場に於ける同事務取扱ひ者十二名計四十九名に對し記念品として南部鐵瓶一個宛を贈呈するこゝとなつた

藤原川工事入札

石城郡玉川村地内の藤原川

紀念品贈呈

平町で十月一日の國勢調査委員卅七名及び町役場に於ける同事務取扱ひ者十二名計四十九名に對し記念品として南部鐵瓶一個宛を贈呈するこゝとなつた

電話新設

追申、歸郷當日の講演會に於て約三時間半に亘り土産談を申し上げましたが未だ々々握つて居る話材の半分も盡して居りません、今後機會ある毎に滿州を語つてお互ひに國家の前途を考へて見度と思ひます。

電話新設
平町 田町
錦水
電話 四五四番

四倉漁業組合の 不買同盟破る

△爭議側の運動奏効 △漁夫連の結束固し

石城郡四倉漁業組合では隣縣大津町の爭議漁夫六十餘名の漁獲したものは一もつをも買はぬと不買同盟を申合せたがこの手痛い通牒に接した漁夫連は

結束をかため石城社

民黨支部の應援の下に縣並に各關係方面に不買同盟徹底を交渉し一方漁船四隻を以て引續き四ツ倉各濱に於いて出漁してゐるので縣の通牒もあり組合でも不買同盟は到底

不加能

であることを知り幾分緩和されつゝある模様であるが二十八日の如きは四倉濱において爭議漁夫の漁獲額が七百五十箱ありこれを平潟漁業組合に販賣した状態で早晩石城各漁業

組合でも

爭議側の漁獲ものを買ふものと観られ漁夫連は大馬力をかけ出漁してゐる

警女入學者

受験番號順

- 大原君子 松本タケ子
- 五十嵐錦子 中井ミネ子
- 磯目ミヨ 高木キミ子
- 佐久間キミ 金成静枝
- 齊藤キノン 樋口君子
- 加藤サタ 荒木チヨ 長

- 野孝子 只トシ 長岡
- キヌ 有坂敏子 佐藤美
- 代子 小野サト 小高良
- 子 伊藤キミエ 馬目ヤ
- ス子 鈴木タカ子 長谷
- 川サダ 河野イチ 石川
- くに子 田崎富美子 高
- 萩穂子 志賀幸子 渡邊
- トキ子 村岡文枝 澤口
- かおる 宗像ハツ 星野
- 千代 志賀吉 鷺イソ子
- 菅波カネ 明智芳子 市
- 原君江 熊澤岩子 草野
- さよ 田村十女 折笠浦
- 子 渡邊ミサ 石澤サワ
- 子 作山久子 渡邊サタ
- 鈴木禮子 四家久子 鈴
- 木ウタ子 江尻恵美子
- 正木キミ 高野喜代 古
- 田部サタ 小野ユヅ 豊
- 田トシ 根本和子 渡邊
- キミ子 石島トミ 緒形
- 敬子 田村タキ 渡邊コ
- ト 吉野ヒサ子 鈴木登
- 子 三瓶タカ 山野邊松子
- 増井マサ 本庄はま子
- 高柳美津子 野村智子
- 大須賀キシ 三野マヌ
- 坂本清子 志賀美都子
- 酒井ミサ子 樽石ハナ
- 鈴木光 松本成子 薄井
- 雅子 芹澤藤子 遠藤や
- よひ 木田皖子 志賀千
- 代 齋藤ハル 西山禎子
- 山形朝子 鈴木英子 木
- 村良子 國井キヨ 遠山
- セン 小林文子 蓬來和
- 子 佐藤富士子 柏原和
- 子 大塚久江 新妻サタ
- 大島幸子 鈴木ナツ 安
- 齊泰 白土登美 中山カ
- ズ子 増子千枝子 海老
- 澤とし 山内タカ 橋ヒ
- サ 橋本操 橋本節 江

遊興男暴行

浪花亭で

平町鎌田町齊木駒之助(四)二十九日午前九時頃平町南町料理店浪花亭に登樓し酌婦を相手に十圓余を遊興泥酔して暴行を働き平署に檢舉された

護摩札無情

僧侶の死因

石城郡神谷村上片寄地藏尊寺住職和法嚴(五)は二十日午後二時頃同郡大浦村最勝院に於て佑天上人開帳祭典の護摩札を作製中腦溢血を起して死亡した

四倉町會

石城郡四倉町では去二十八日午前九時から町會を招集して左記の案件につき審議した

- 一、雜種財産拂下に關する件
- 一、寄附金採納に關する件
- 一、昭和六年度内一時借入金に關する件
- 一、昭和六年度歳入出追加更正豫算の件

疫癘患者死亡

平町舊城跡二五鐵道官舎内保線

土、坂壽廣長女ハツ(三)二女ユキ(一)三女トシ(六)の三名が疫病患者である事二十八日に到り發見し直ちに平町隔離病舎に收容し附近大消毒を行ったが二十九日午前十時頃ハツは遂に死亡した

鈴木平吉翁

送葬は來一日

平運輪事務鈴木條三郎氏岳父平吉氏は兼て病氣中の處昨二十九日午後一時小名濱町にて逝去したが享年七十六才、送葬は來一日午後二時出棺良善寺に於いて執行すると、尙同氏は平町馬目雄次郎氏の岳父で少壯時は北海道に渡りて以來波瀾を極めた生涯であつたと。



看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

謹啓 父鈴木平吉儀病氣の處療養不相叶本日午後一時死去仕候間此段謹告仕候 敬具
追て葬儀は來る四月一日午後二時平町田町鈴木條三郎宅出棺良善寺に於て佛葬相營み申候
昭和六年三月二十九日

- 喪主 在東京
- 男 鈴木 木 增 平
- 男 馬目 雄 次 郎
- 男 鈴木 木 條 三 郎
- 男 鈴木 木 弘 一

父仁太郎儀 本日葬送の際は遠路に不拘御會葬被下殊に玉串料を辱ふし難有奉存候早速拜趨御厚禮可申上處混雜中に付乍略儀以紙上不取敢御禮申上度如斯に御座候 敬具
昭和六年三月三十日
男 谷口長治

母コウ儀 葬送の際は遠路に不拘御會葬被下且鄭重なる御香奠を辱し難有奉深謝候 敬具
昭和六年三月三十日
福島縣石城郡湯本町
比佐昌平



加納の徳徳 (其二)
空には鯉の吹雪が其の雄姿を隠して下町を徘徊し、

「お千代は四月の二十日頃から、風邪の氣持ちで三四日寝たが、生

「お千代は四月の二十日頃から、風邪の氣持ちで三四日寝たが、生

「お千代は四月の二十日頃から、風邪の氣持ちで三四日寝たが、生

「お千代は四月の二十日頃から、風邪の氣持ちで三四日寝たが、生

「お千代は四月の二十日頃から、風邪の氣持ちで三四日寝たが、生

寒い〜北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家録登
靈効散

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番
淋病 皮膚病 婦人病
門專 腸胃病 胃性病

大勝園
平町三丁目
配達
花柳病專門
木村外科醫院

タクシー部開設
車は！三二年セダン型
御用命はゼヒ
電話三九五番
芹澤自動車商會
タクシー部

藤田女學校生徒募集
文部大臣認可
注意
今や入學の好時機なり
平南町
平産婆看護婦學校